

株式会社 丸井グループ

2022年3月期 第3四半期決算概要



2022年2月3日

22年3月期 第3四半期決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ フィンテック
- ・ 小売
- ・ 共創投資
- ・ B S / キャッシュフロー
- ・ E S G

通期見通し

- ① グループ総取扱高は2兆5,084億円（前年差+3,447億円）で過去最高を更新
- ② 当期利益は前年に比べて+24億円の162億円（17%増）
主要KPIのEPSは13円増の78円
- ③ 連結営業利益は+11億円の297億円（4%増）
前年の固定費特損振替や家賃減免等の特殊要因を除くと+26億円の増益
- ④ フィンテックセグメントの営業利益は+15億円の331億円
小売セグメントの営業利益は△6億円の12億円

*今期より新収益認識基準を適用しております。

総取扱高の伸長により売上収益が増加、3期ぶりの増収、2期ぶりの増益

		22年3月期 第3四半期累計				
		前年比 (%)	前々年比 (%)	前年差 (円)		
EPS (円)		77.5	120	85	+12.8	
	20年3月期 第3四半期累計	21年3月期 第3四半期累計	22年3月期 第3四半期累計			
	兆 億円	兆 億円	兆 億円	前年比 %	前々年比 %	前年差 億円
グループ総取扱高	2,174.3	2,163.7	2,508.4	116	115	+3,447
売上収益	1,744	1,536	1,565	102	90	+29
売上総利益	1,480	1,340	1,369	102	92	+29
販管費	1,153	1,054	1,072	102	93	+18
営業利益	328	286	297	104	91	+11
経常利益	318	284	289	102	91	+5
当期利益	198	139	162	117	82	+24

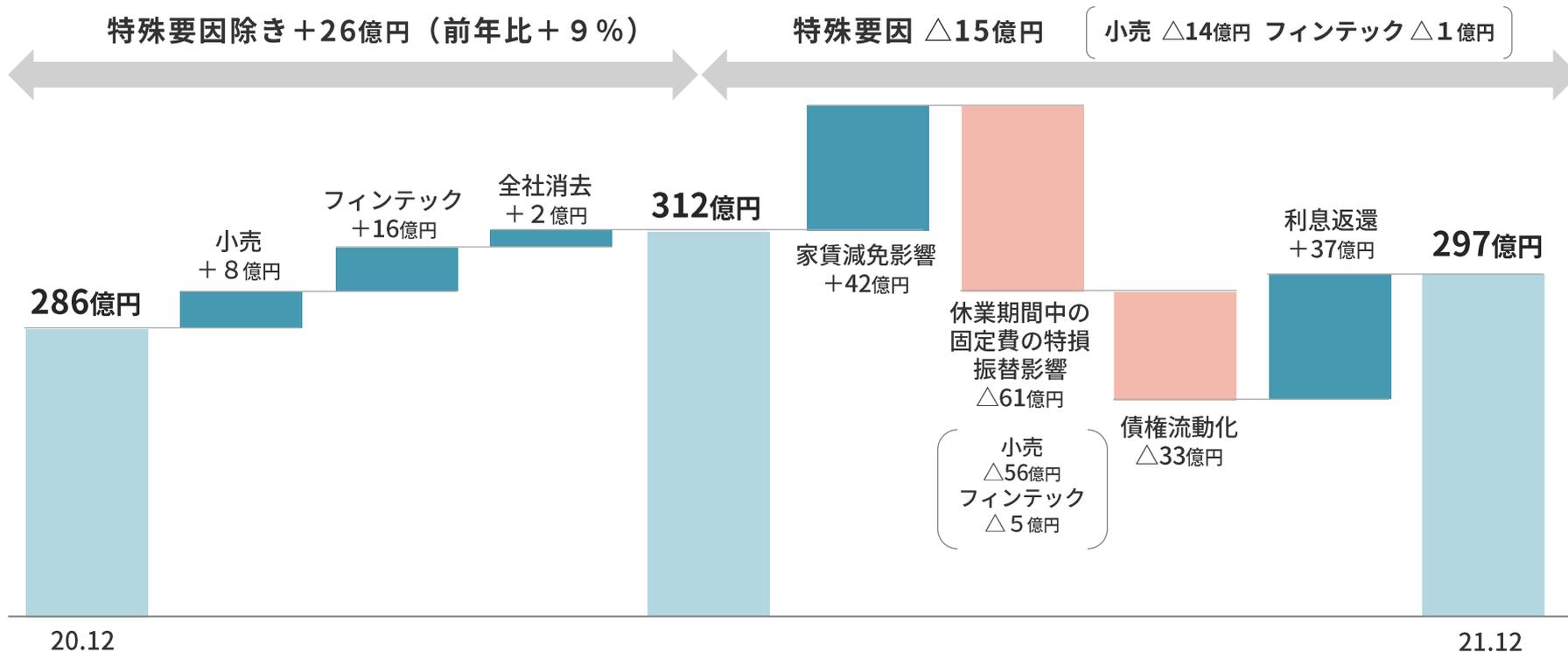
セグメント別の状況（売上収益・営業利益）

フィンテックは増収増益、小売は増収も前年の固定費特損振替影響により減益

	20年3月期 第3四半期累計	21年3月期 第3四半期累計	22年3月期 第3四半期累計	前年比	前々年比	前年差
	億円	億円	億円	%	%	億円
売上収益	1,744	1,536	1,565	102	90	+29
小売	760	536	564	105	74	+29
フィンテック	1,047	1,039	1,048	101	100	+9
全社・消去	△63	△39	△48	—	—	△9
営業利益	328	286	297	104	91	+11
小売	77	18	12	68	16	△6
フィンテック	302	316	331	105	109	+15
全社・消去	△51	△48	△46	—	—	+2

営業利益増減の内訳

連結営業利益は特損振替影響を含む特殊要因を除くと、9%増の26億円増益



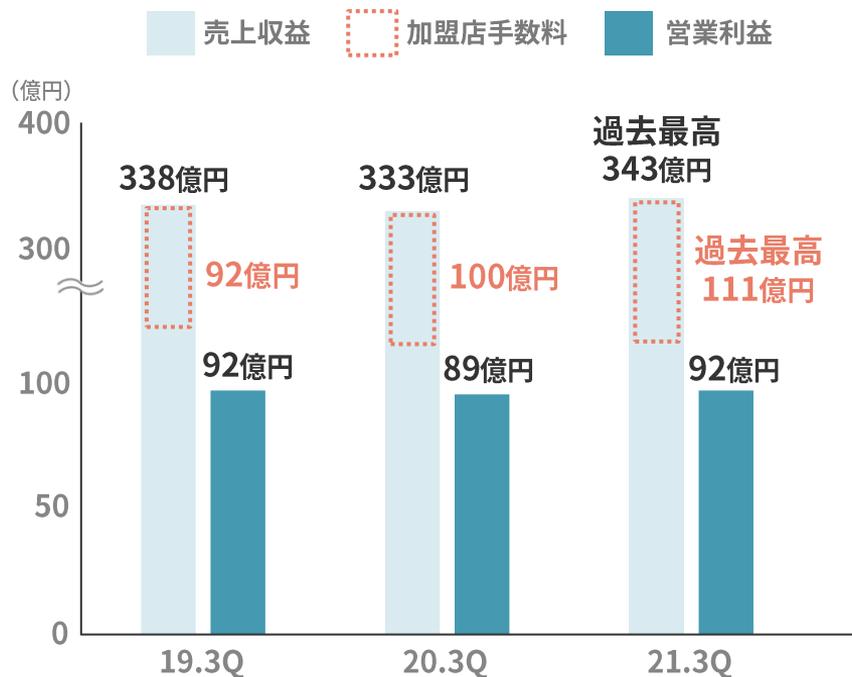
22年3月期 第3四半期決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ フィンテック
- ・ 小売
- ・ 共創投資
- ・ B S / キャッシュフロー
- ・ E S G

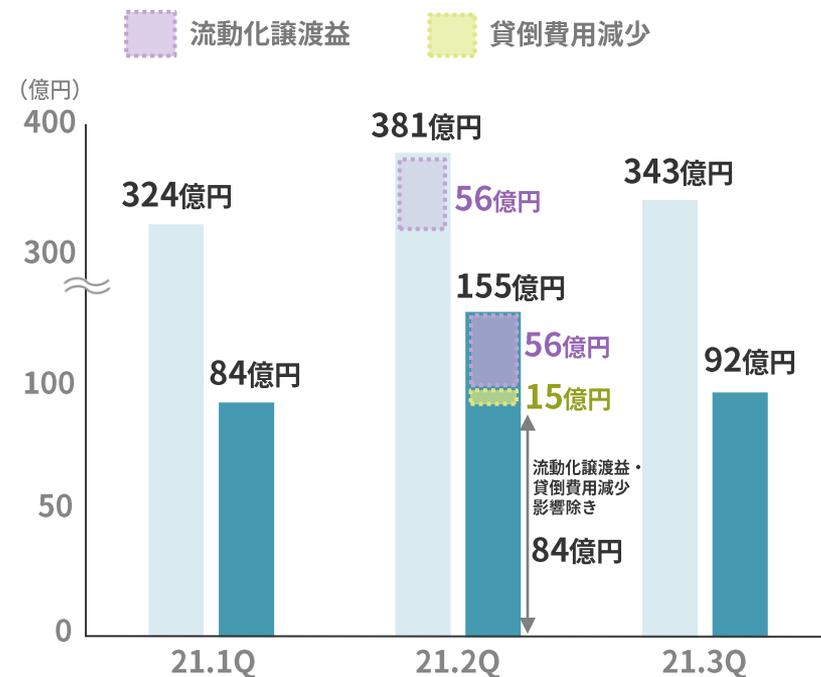
通期見通し

第3四半期での売上収益では当期が過去最高

■ 直近3年 第3四半期実績推移

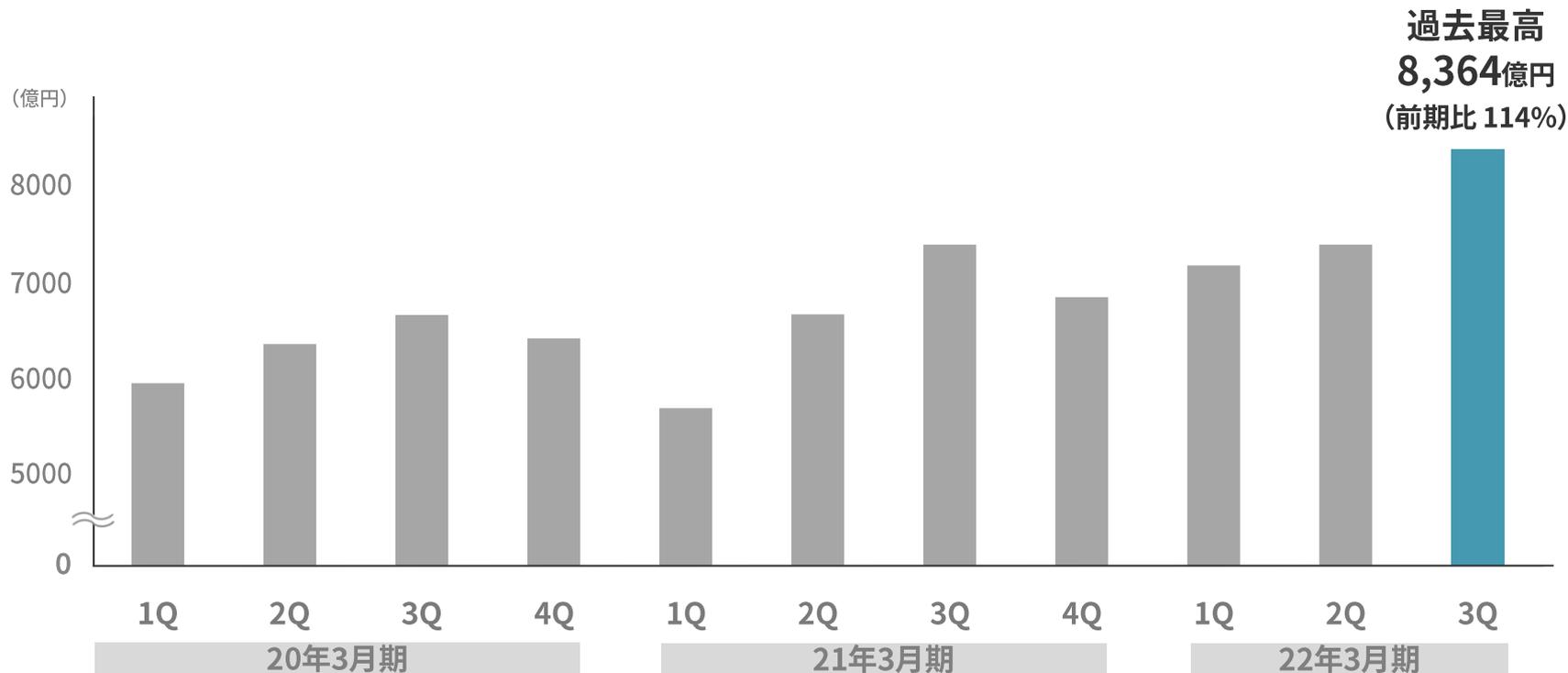


■ 22年3月期 四半期別推移



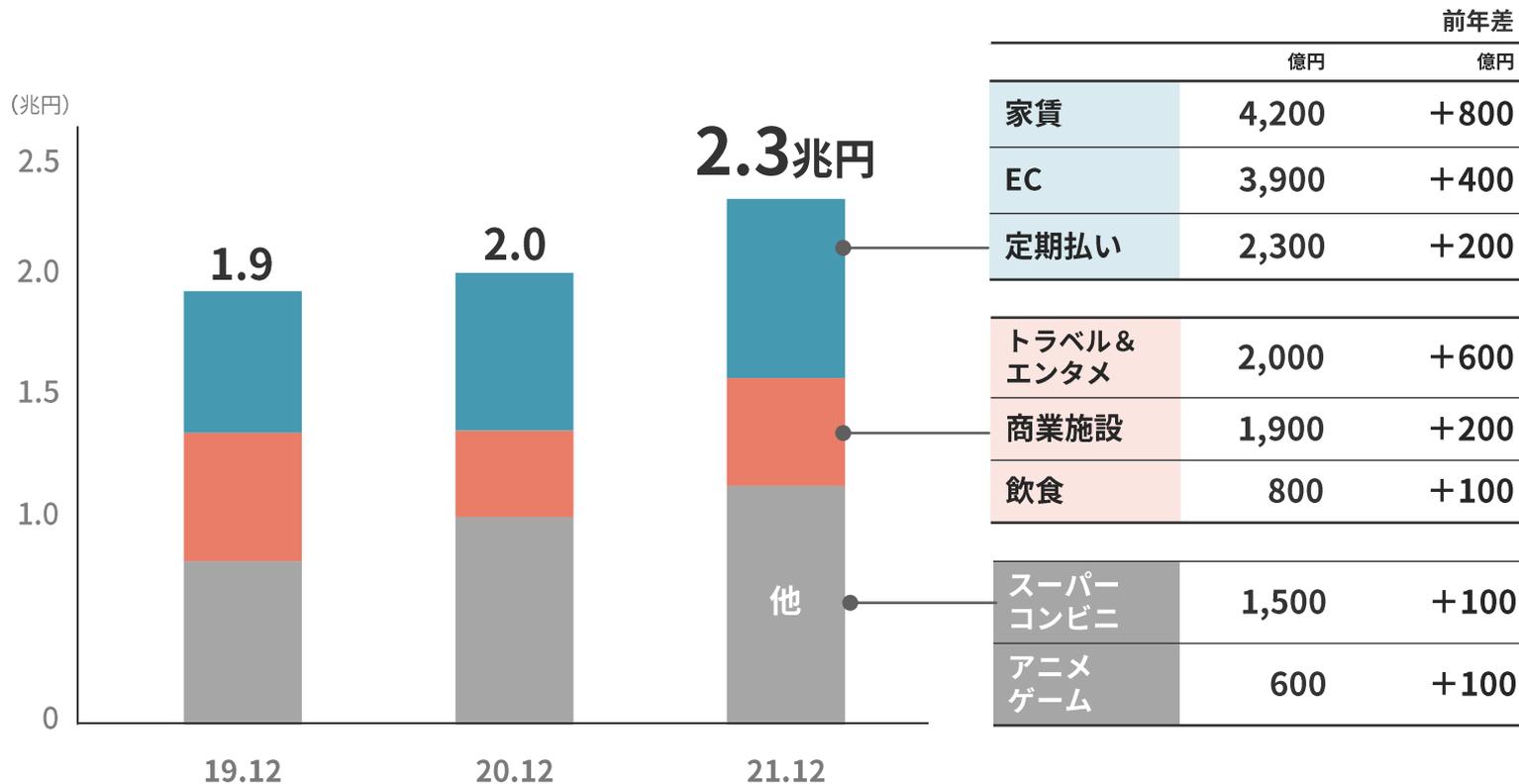
カードクレジット取扱高

四半期単位（3ヵ月）での取扱高は、当第3四半期が過去最高



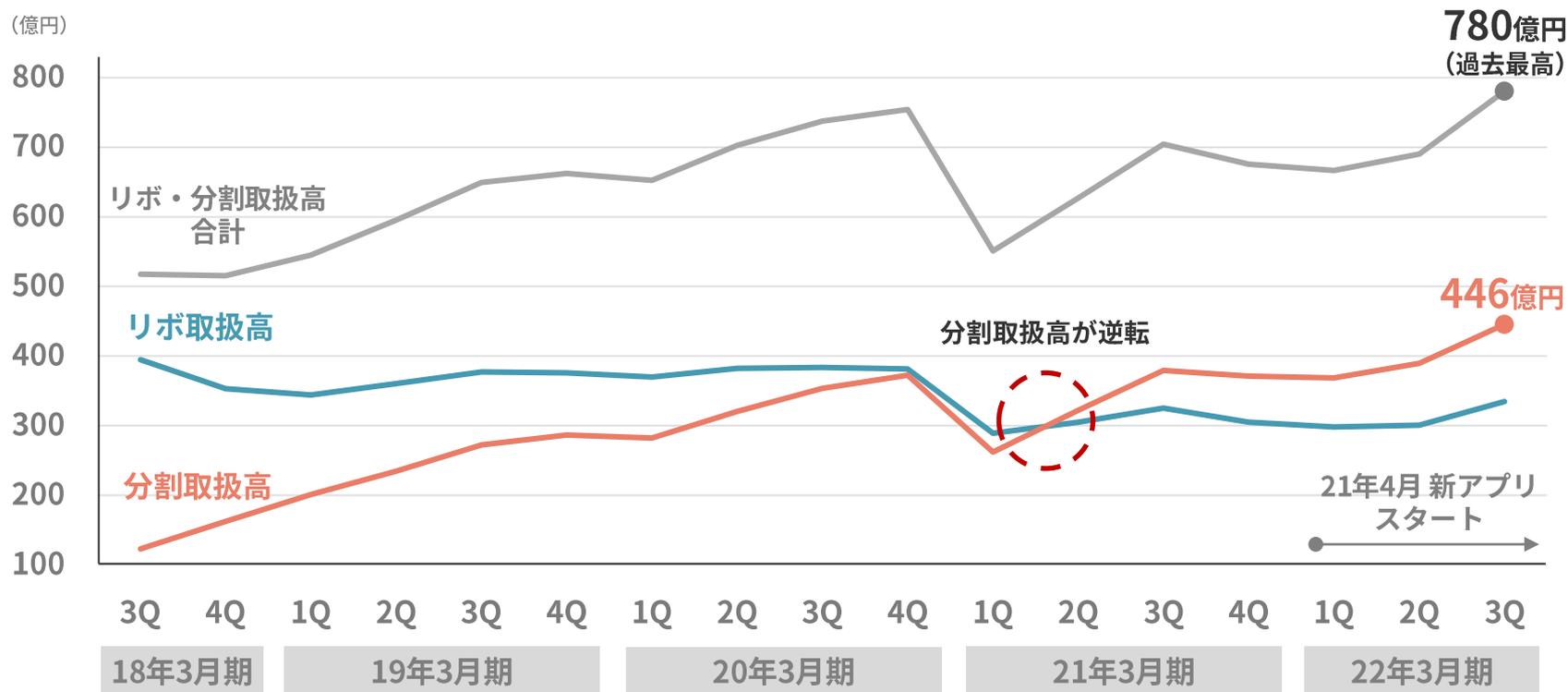
カードクレジット取扱高

家計シェア最大化の推進が功を奏し、取扱高は過去最高となる2.3兆円



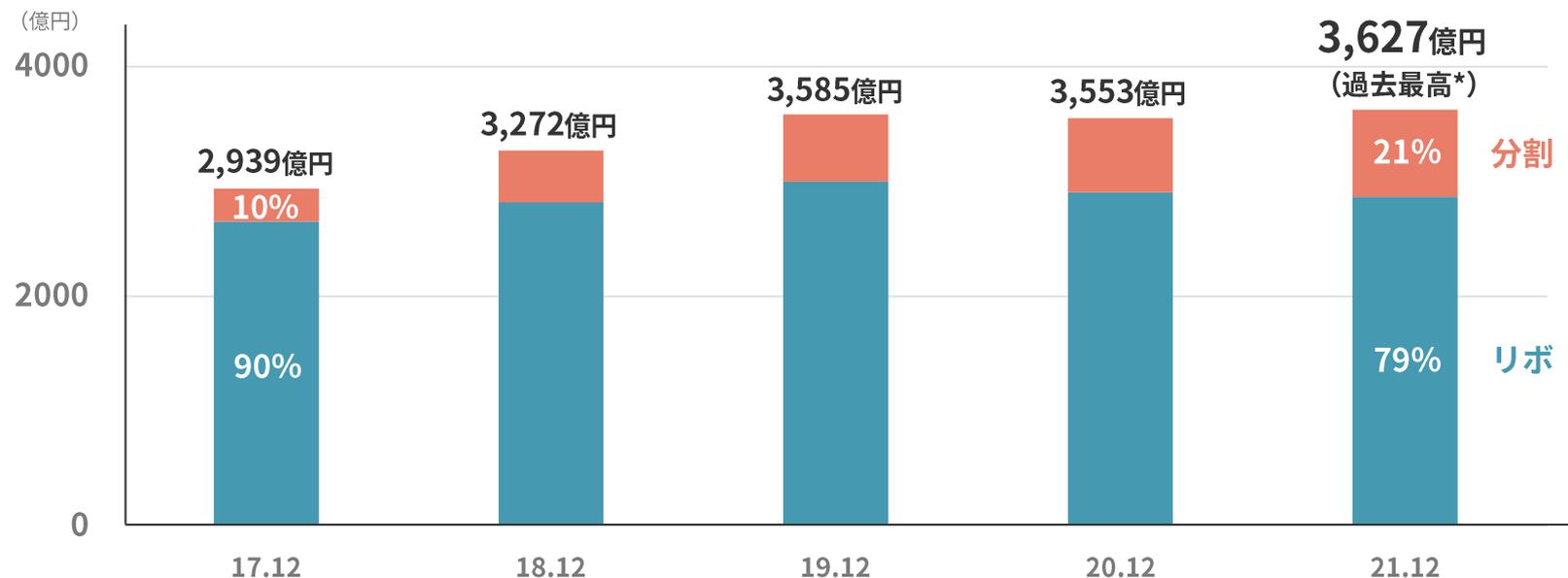
リボ・分割取扱高の推移

昨年度にリボ取扱高を上回った分割取扱高がさらに伸長し、第3四半期のリボ・分割取扱高は過去最高に



リボ・分割取扱高の構成変化にともない、分割残高の構成は21%まで拡大し、残高は過去最高*

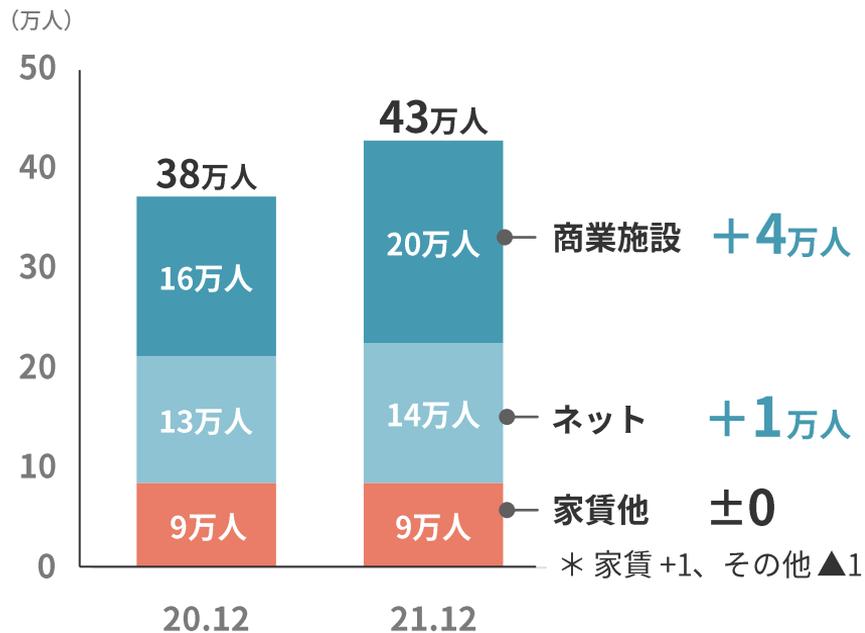
■ リボ・分割残高推移（流動化債権を含む）



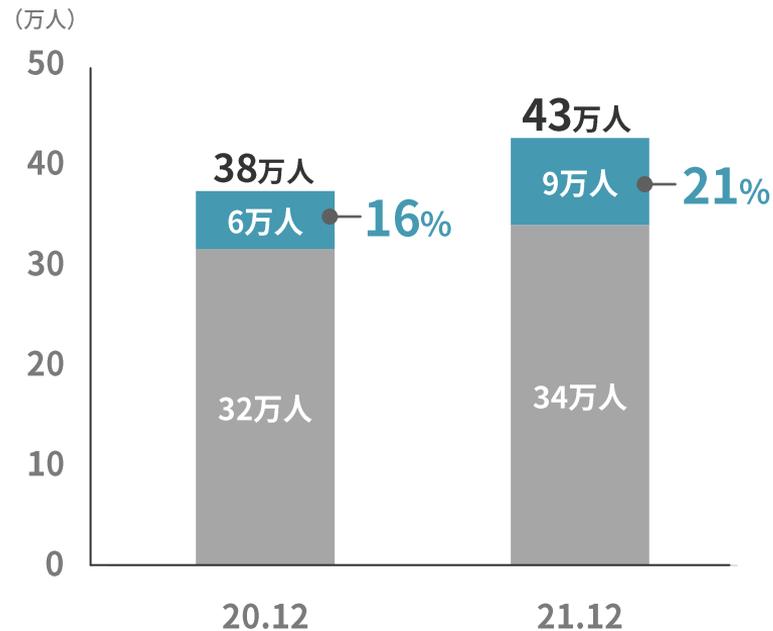
*エポスカード発行以来

商業施設での入会が回復し前年から5万人増、また「『好き』を応援するカード」の構成が増加

■入会経路別構成

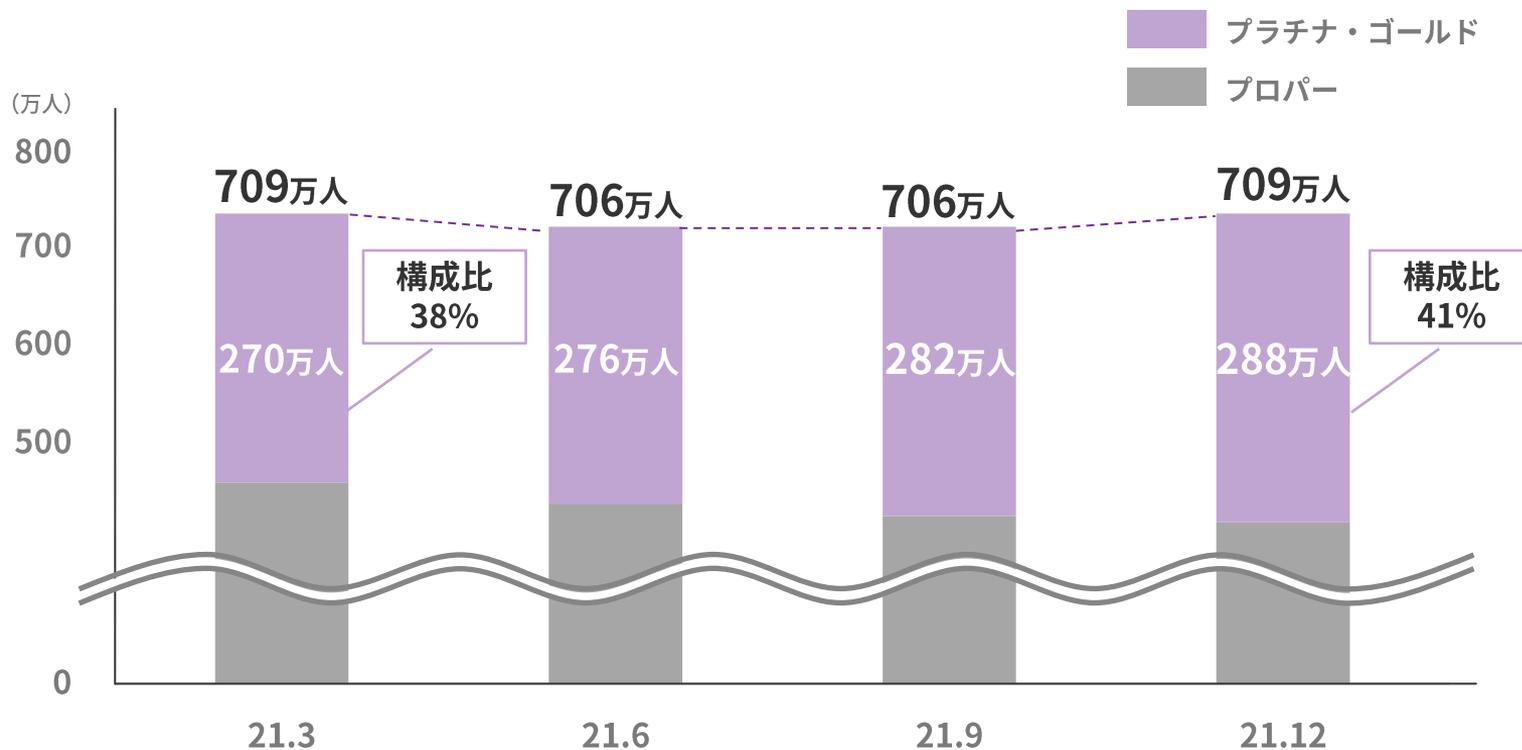


■「『好き』を応援するカード」構成



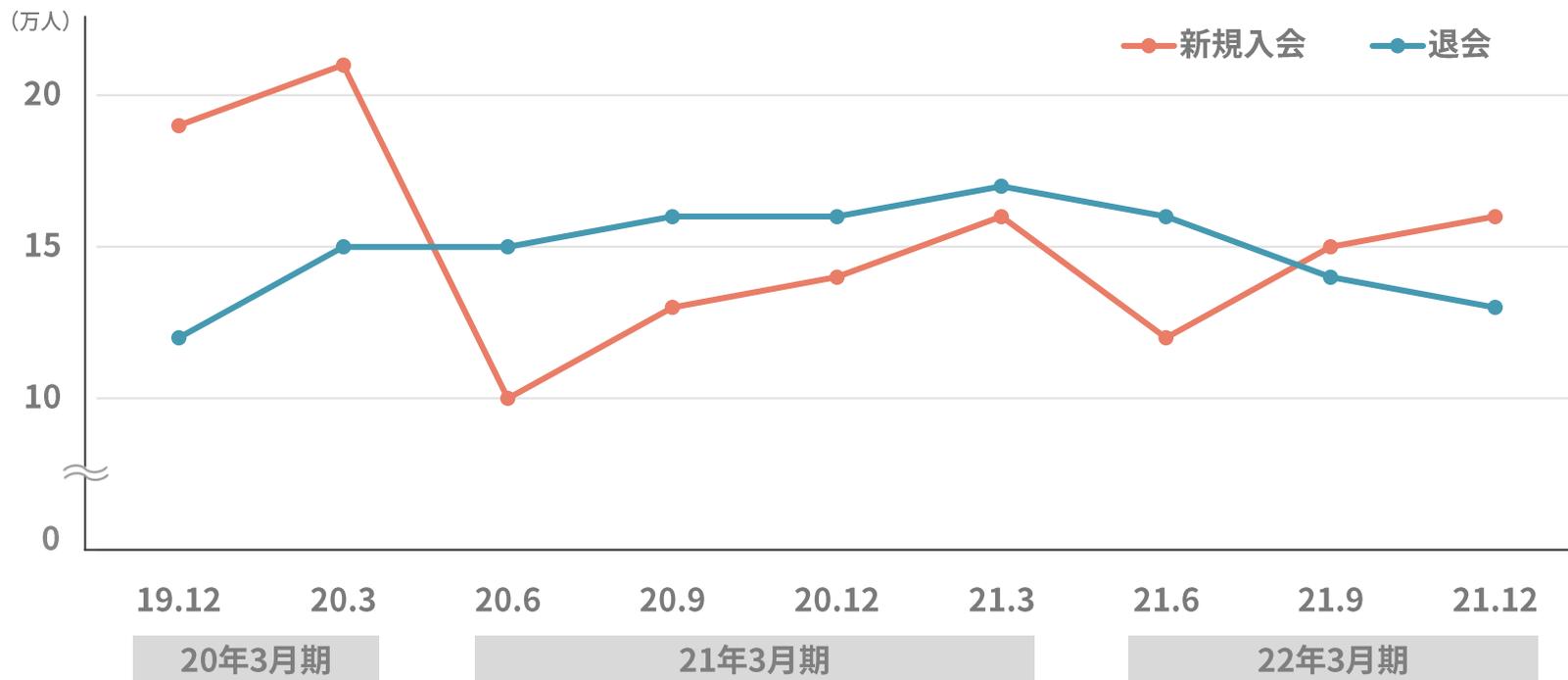
カード会員数の推移

カード会員数は709万人、プラチナ・ゴールドの構成は41%に拡大

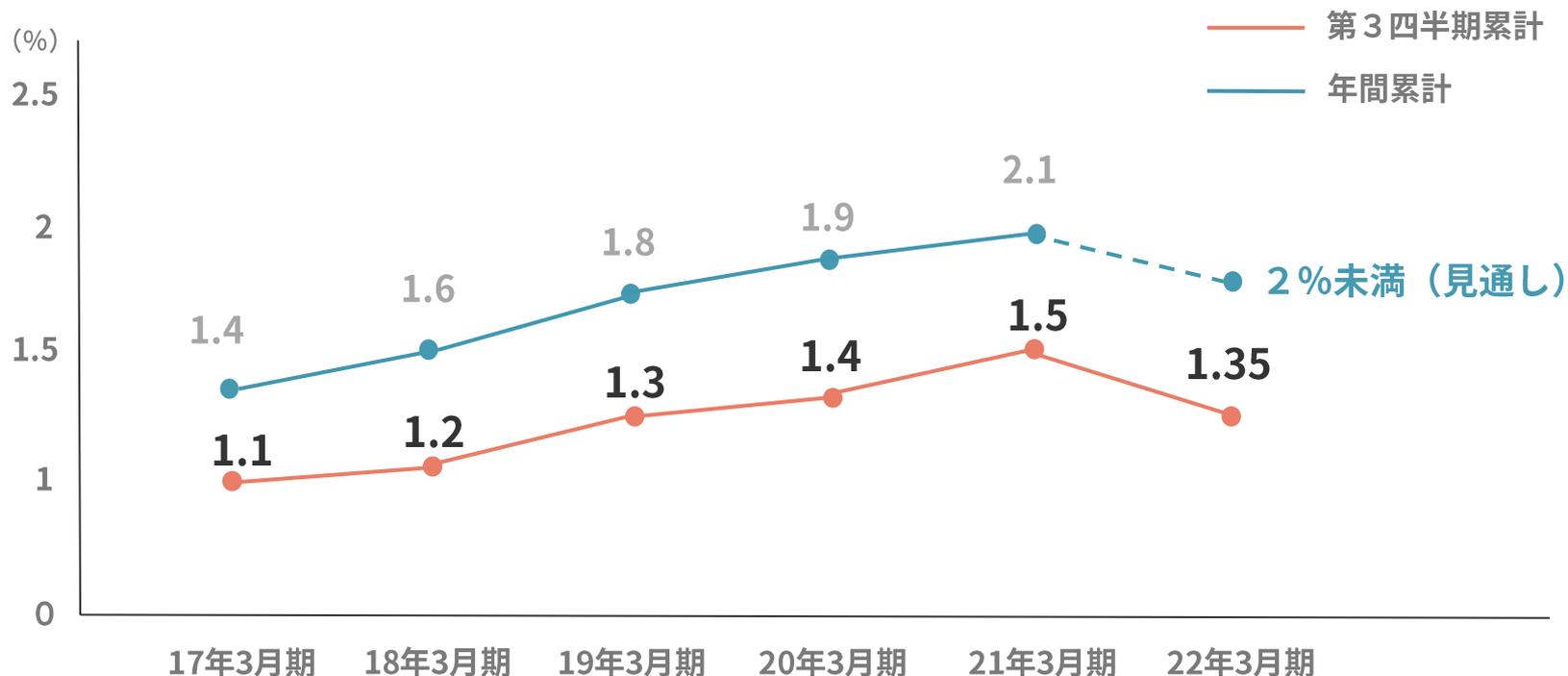


新規入会・退会者数の推移

第2四半期に入退会者数が逆転し、今期は入会者数が退会者数を上回る



前期まで増加していた貸倒率は1.35%となり、当期は減少の見込み



*貸倒率 = 貸倒償却額 / 期末営業債権残高 (流動化債権含む)

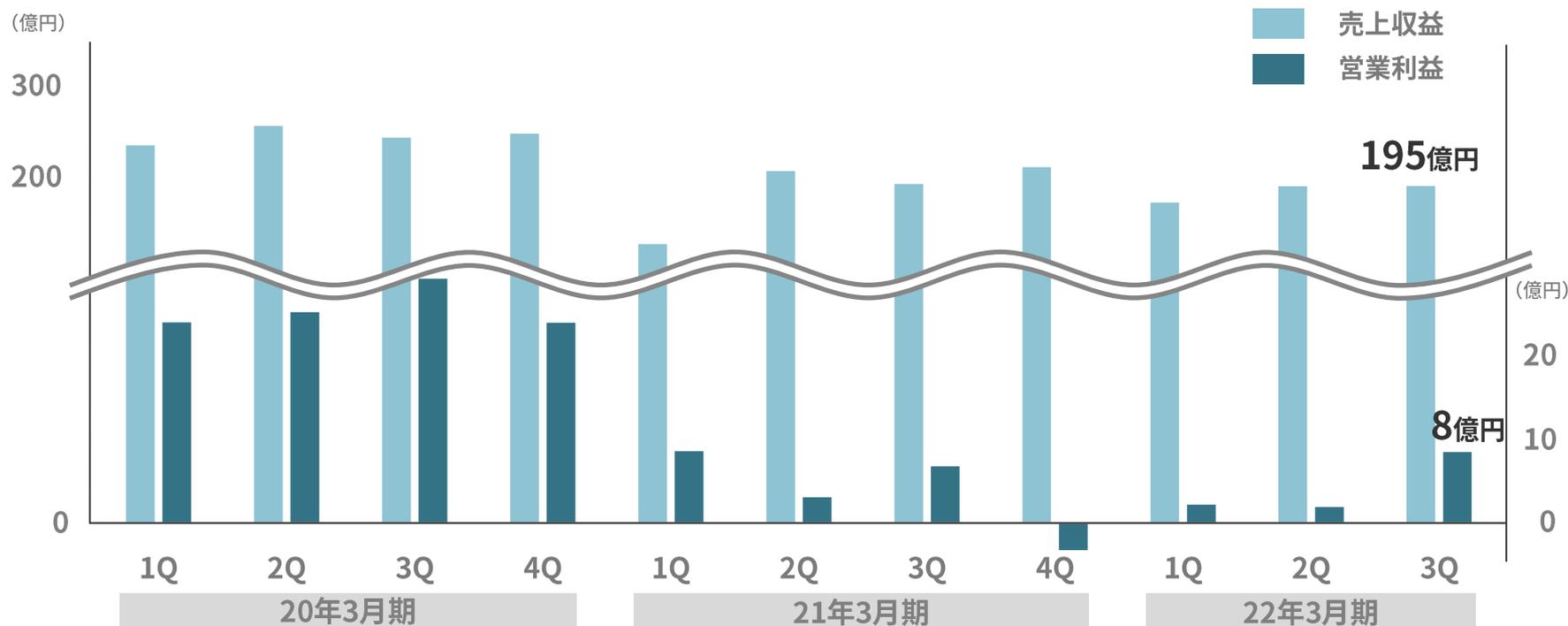
22年3月期 第3四半期決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ フィンテック
- ・ 小売
- ・ 共創投資
- ・ B S / キャッシュフロー
- ・ E S G

通期見通し

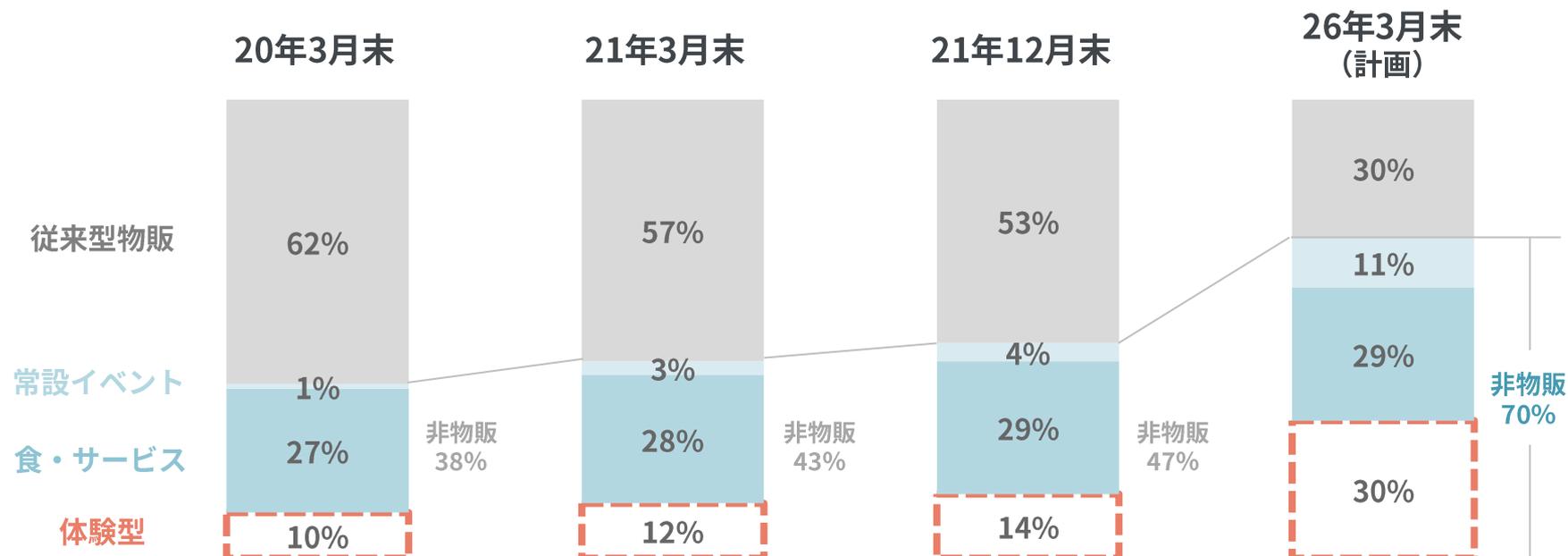
小売：売上収益・営業利益の推移

第3四半期（3ヵ月）の売上収益は195億円、営業利益は8億円

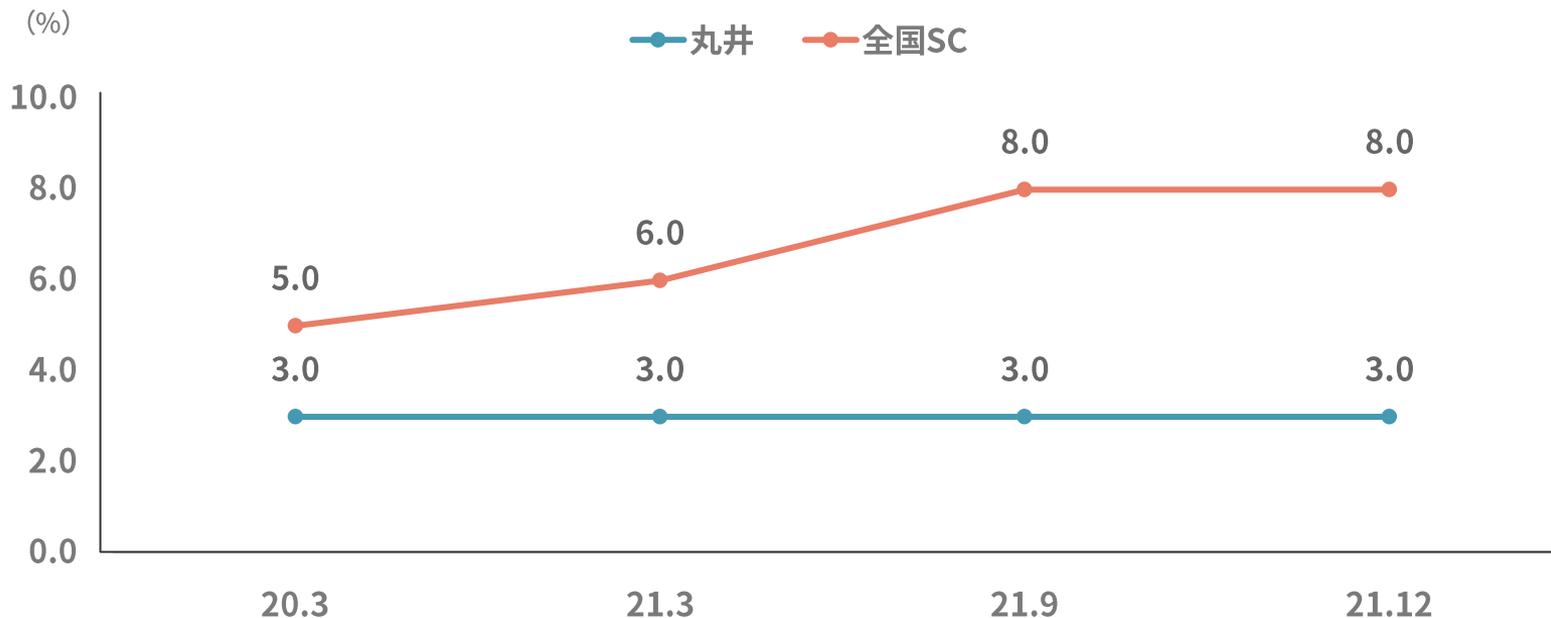


12月末時点の非物販テナントの面積構成は47%（+4%）、体験型が14%となりカテゴリ転換が進む

■カテゴリ構成の推移



空室率はコロナ禍においても3%台を維持



* 空室率：売場面積のうち閉鎖区画面積の割合
* 全国SCはSCデータベース等より当社推計

22年3月期 第3四半期決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ フィンテック
- ・ 小売
- ・ 共創投資
- ・ B S / キャッシュフロー
- ・ E S G

通期見通し

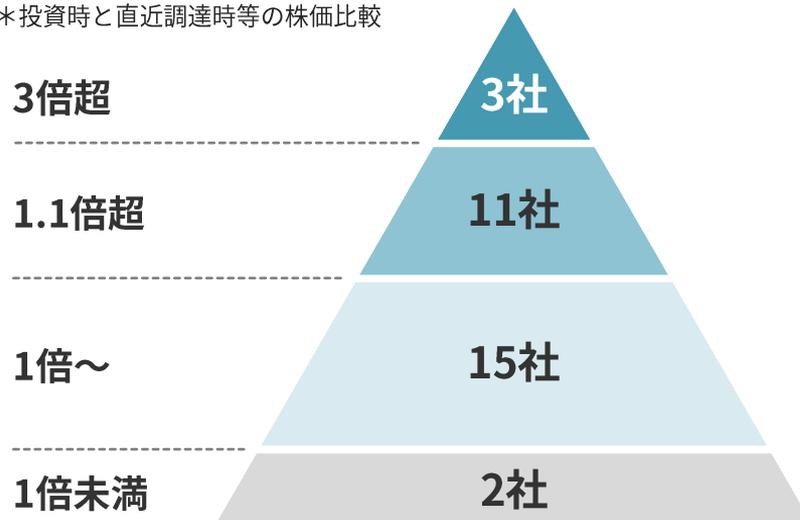
■ スタートアップ投資の状況

	社数	投資額
21年度累計	4社	7億円 (19億円)*
累計	31社	134億円 (207億円)*

*ファンド出資を含む投資額

■ 投資先31社の状況

*投資時と直近調達時等の株価比較



ハードルレート < IRR 26%
IRR 10%

*IRR：保有する有価証券の内、非上場株は直近調達時価格、上場株は21年12月末時点の株価で会計期末に売却と仮定し算出

22年3月期 第3四半期決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ フィンテック
- ・ 小売
- ・ 共創投資
- ・ B S / キャッシュフロー
- ・ E S G

通期見通し

バランスシートの状況

総資産は9,336億円となり323億円増加、営業債権は5,863億円で416億円増加

	21年3月末	21年12月末	増減
	億円	億円	億円
営業債権	5,447	5,863	+416
(債権流動化額：外書)	(1,822)	(2,020)	(+198)
[流動化比率(%) *1]	[25.1]	[25.6]	[+0.5]
割賦売掛金	4,267	4,727	+460
営業貸付金	1,180	1,137	△44
固定資産	2,775	2,745	△31
投資有価証券	421	389	△32
有利子負債	4,846	5,272	+427
[営業債権比(%) *2]	[89.0]	[89.9]	[+0.9]
自己資本	2,896	2,690	△206
[自己資本比率(%)]	[32.1]	[28.8]	[△3.3]
総資産	9,012	9,336	+323

*1 流動化比率 = 債権流動化額 / (営業債権 + 債権流動化額)

*2 営業債権比 = 有利子負債 / 営業債権

基礎営業キャッシュ・フローは前年から146億円増加

	21年3月期 第3四半期	22年3月期 第3四半期	前年差
	億円	億円	億円
営業キャッシュ・フロー	198	48	△150
営業債権等の増減（△は増加）	49	△247	△296
基礎営業キャッシュ・フロー *	149	295	+146
投資キャッシュ・フロー	△150	△109	+41
固定資産（有形・無形）の取得	△88	△71	+17
投資有価証券の取得	△45	△29	+16
保証金返還他	△17	△9	+8
財務キャッシュ・フロー	△59	59	+118
有利子負債の増減	43	427	+384
配当金の支払	△101	△110	△9
自己株式の取得他	△1	△257	△256
現金及び現金同等物の期末残高	397	410	+12

* 基礎営業キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー - 営業債権等の増減

22年3月期 第3四半期決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ フィンテック
- ・ 小売
- ・ 共創投資
- ・ B S / キャッシュフロー
- ・ E S G

通期見通し

D J S I World Index構成銘柄に4年連続で選定

■おもな外部評価

- 2021年11月 D J S I World Index構成銘柄に4年連続で選定
- 2021年11月 D J S I Asia Pacific Index構成銘柄に5年連続で選定

※その他受賞の内容はホームページでご覧いただけます

<https://www.0101maruigroup.co.jp/ci/award/index.html>

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

22年3月期 第3四半期決算概要および各事業の状況

- ・ 連結
- ・ フィンテック
- ・ 小売
- ・ 共創投資
- ・ B S / キャッシュフロー
- ・ E S G

通期見通し

当初計画どおりの営業利益365億円、当期利益165億円を見込む

	21年3月期	22年3月期	前年比	前年差	前々年差
EPS (円)	10.6	79.6	752	+69.0	△37.4
ROE (%)	0.8	5.9	—	+5.1	△2.9
ROIC (%)	1.4	3.2	—	+1.8	△0.5

< 参考 >

	兆 億円	兆 億円	%	億円	億円
グループ総取扱高	2 9,192	3 4,100	117	+4,908	+5,063
売上収益	2,062	2,120	103	+58	△197
売上総利益	1,773	1,850	104	+77	△94
販管費	1,621	1,485	92	△136	△42
営業利益	152	365	240	+213	△53
当期利益	23	165	728	+142	△88

<参考> 2022年3月期 セグメント別利益見通し

	21年3月期	22年3月期	前年比	前年差
	億円	億円	%	億円
小売	15	20	135	+5
フィンテック	202	410	203	+208
全社・消去	△65	△65	—	0
連結営業利益	152	365	240	+213

*前提条件	第3四半期累計（実績）		通期	
	前年比	前々年比	前年比	前々年比
小売取扱高	109%	73%	109%	78%
フィンテック取扱高	116%	119%	117%	121%



本資料に掲載しております将来の予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。お問い合わせは、I R部 03-5343-0075にご連絡ください。